

## ハスミク・キラコシアン研究員（アルメニア）



私はアルメニアから参りましたハスミクと申します。非常事態省の西部地震保護の人口センターの心理学者として働き始め、現在は非常事態省地震保護庁で主席専門官とし勤務しております。

アルメニアは、ユーラシア大陸、南コーカサス地域の主権国家です。西にトルコ、北にグルジア、東にアゼルバイジャン、南にイランとナヒチェヴァン自治共和国と国境を接しています。自然・人為災害（海難事故を除く）が多い国のひとつですが、アルメニアに一番甚大な被害をもたらした災害は、地震です。スピタク地震（1998年12月7日）は歴史的に最も大規模な災害で、

25,000人以上がこの地震により亡くなりました。

これら災害からの被害を抑制させるために、防災教育などの防災対策は、私が所属する非常事態省において重要な活動となっています。私個人としては非常事態省で主に、防災・危機管理に関する仕事をしておりますが、私が所属する部署では、一般の市民を対象とした社会心理に関する研究も実施しています。また、非常事態省では、地震災害に関連する法整備も行っています。

アジア防災センターのミッションは、メンバー国の防災能力の強化、人々が安心して暮らせる地域づくり、持続可能な開発を可能にする社会づくりです。アルメニアでは、持続可能な開発にむけて、日々進歩している世界の専門的技術を多くを学んでいくことが求められています。ADRCの客員研究員プログラムに参加し、防災の知識や技術を得ることは、母国であるアルメニアのミレニアム開発目標（MDGs）の実現にも貢献できると確信しております。